

こもれび

氷見・こもれびの里広報紙

第 72 号

令和 2 年 6 月 1 日

行事予定について
6月～9月までの予定は現在未定となっております。決まり次第、お伝えしていきますのでよろしくお願い致します。

ご寄付 (順不同・敬称略)

- ・久保 一男

ご協力 (順不同・敬称略)

- ・谷内 和子
- ・釣 幸子
- ・北澤 晃
- ・干場 弘美
- ・石見 淳子

ご寄付・ご協力ありがとうございました!!



春の訪れを実感しています。メンバーの素敵な笑顔を見ることが出来て私たちもとても嬉しい気持ちになりました。

○利用者の状況《令和 2 年 4 月 1 日現在》

(単位：人)

区分	定員	現在員			出身地				
		男	女	計	氷見市	高岡市	射水市	東京都	計
こもれびの里	45	28	20	48	45	1	2		48
こもれび作業所生活介護	40	29	11	40	38	1		1	40
こもれび作業所就労継続支援B型	40	18	17	35	34	1			35
櫛 (外部サービス利用型共同生活援助)	男女各4	4	4	8	7	1			8
櫛 (共同生活援助・介護サービス包括型)	男8	8		8	6	1		1	8

○年齢別在所者数

(単位：人)

区分	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	計
こもれびの里		4	7	16	7	6	8	48
こもれび作業所生活介護		9	13	10	3	3	2	40
こもれび作業所就労継続支援B型		8	4	13	3	5	2	35
櫛 (外部サービス利用型共同生活援助)				2	3	1	2	8
櫛 (共同生活援助・介護サービス包括型)			3	1	1	1	2	8

一緒に働きませんか？新規採用職員を募集しています。

こもれびの里では私たちと一緒に働いてくれる職員を募集しています。興味のある方は一度こちらの電話番号までご連絡下さい。詳しい詳細は下記のHPに記載してありますのでご確認下さい。 TEL: 経営管理課 (0766) 74-3001



お待ちしております。



体を動かすって気持ちいいね!!

【発行】

社会福祉法人 野の草会
こもれびの里
こもれび作業所
こもれびの里保護者会
〒935-0025 富山県氷見市鞍川1855
TEL(0766)74-3001
FAX(0766)74-3101
Eメール shien@n-komorebi.or.jp
ホームページアドレス
<http://www.n-komorebi.or.jp/>

【編集後記】
桜の花びらも散り、園内のグラウンドの桜の木々は青々しい若葉へと変化しています。
そんな令和2年の現在、新型コロナウイルスの影響もあり昨年とは異なった年度の始まりとなりました。先の見えない未知のウイルスと今後どのように向き合っていけば良いのか、今一度メンバーも含めて考えていく必要があります。
メンバー、スタッフ共々体調管理に努め、一日も早くのびのびと過ごせる日常を取り戻していきたいと思えます。
(S・T)

令和二年度

法人の理念・運営方針

○誰もが相互に人格と個性が尊重され、支え合える社会、多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会を目指します。

○子どもや健康な人も障害のある人にも分け隔てなく福祉を向上させます。

○自立生活ができるよう支援します。

○利用者の人権・尊厳を守り、一人ひとりがその人らしい生き方ができるよう創意工夫します。

○地域とのつながりを大切にします。

— 基本理念 —
 すべての人が互いに尊重し支え合う、
 共生社会の実現に努めます

施設の運営方針

障害者総合支援法に基づき、利用者の「尊厳と人権・暮らしを守る」ことを使命とし、利用者本位の質の高いサービスの提供に努めることともに、多様なニーズに応えるため、福祉サービスの充実を図り、新たなサービスの創造と地域社会における共生の実現に向けた取り組みを積極的に展開します。

さらに、平成二十八年四月から「障害者差別解消法」が施行され、すべての国民が障害の有無に

よって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現につながることを目的としており、事業者として普及啓発を図っていきます。

また、利用者の高齢化や障害の重度化及び重複化の傾向が進んでおり、利用者を取り巻く日々の生活環境は大きく変化しています。

日中活動においてはこのような高齢化や身体能力の変化、障害の範囲拡大に応じた、より専門的なサービスを提供し、また作業面においても作業の効率化や自主製品の開発に努めていきます。さらに、今後の地域福祉サービスの展開を考え、相談支援事業を通じて地域福祉の拠点機能としての役割を果たしてまいります。

— 基本方針 —
 ○施設の主体は利用者
 ○地域に開かれた施設
 ○個別のニーズに 대응

- 主な重点課題 —
- ① サービスの質の向上
 - ② 虐待防止と権利擁護
 - ③ 事故防止対策
 - ④ 加齢による変化への対応
 - ⑤ 就労支援の強化
 - ⑥ 相談支援の強化
 - ⑦ 個別支援計画の充実
 - ⑧ 職員の資質向上

新規採用職員

こもれびの里にて働いている新規採用職員の皆さんを紹介します。これからよろしく願っています。

4月より皆さんの仲間に入れていただきました鶴瀬です。沢山の笑顔を見せてもらったり又声をかけてもらったりして1か月頑張ることが出来ました。これからも一生懸命に前向きにメンバーさんや職員さんに支えていただき頑張っていけたらと思います。また、素敵な笑顔の花を咲かせたいと思います。

支援補助員 鶴瀬 富美子

12月より皆さんと一緒に働いています高戸です。メンバーの皆さんの笑顔に日々癒されながら支援させていただいています。これからも変わらずよろしく願っています。

支援補助員 高戸 たい子

退職職員

昨年度で退職された三名の職員です。皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。皆様の益々の活躍お祈り申し上げます。

三月末で退職することになりました。三年間という短い期間ではありましたが皆さんのことを経験させていただきました。目まぐるしい日々の中、時には困難なことを経験しましたが関係の皆様のおかげにより何とか無事勤めを終えることができました。心よりの感謝申し上げます。

特に利用者の方々からは、屈託のない明るい挨拶や何気ない会話による大きな励みや応援、また日々「こもれひ」の「こもれひ」の「こもれひ」な時間をいただきました。

そのような素晴らしい風土を持った「こもれびの里」が今後ますます発展することともに、皆様方が一層「健勝で」活躍されることをお祈りいたしております。

施設長 民谷 万由美

この度、三月末で退職することになりました。

平成二十二年に入社し、最初はとても不安でしたが、利用者の皆さんの笑顔や職員の皆さんに助けていただき、充実した十年間を過ごすことが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

四月からは富山県を離れて別の職場に行きますが、こもれびの里での経験を自分の強みとして生かしてまいります。

今後、皆様の「活躍」に健康をお祈りいたします。ありがとうございます。

支援員 川口 康二

三月末で退職することになりました。皆様方には心より感謝致します。特に利用者の皆様方には石割桜の花のように明日に根を張り頑張っ生きて下さい。私も頑張ります。ありがとうございます。

支援補助員 池田 孝治

苦情解決及び事故対応の状況

こもれびの里では三名の方を第三者委員として委嘱し、年一回サービス提供に係わる苦情や事故について助言をいただき、事故の再発防止やサービスの質の向上に努めています。

令和元年度における件数は以下のとおりでした。

苦情	1件	利用者の物損破損の発生原因や報告の在り方に関すること。
事故	20件	服薬関係、利用者間のトラブル、転倒や怪我等。